

「Y-PORT 事業」を通じた海外ビジネス展開に向けた情報共有の場

『Y-PORT ワークショップ』を開催しました。

・世界が注目、南太平洋島嶼国のハブ都市！
～ フィジー共和国スバ市の可能性 ～

新興国等における都市課題の解決支援と企業の海外展開の促進に向けて「第25回Y-PORTワークショップ」を開催しました。

横浜市は、アジア開発銀行（ADB）が、途上国の中で特に将来性を有する都市を対象に、スマート技術等の活用を図りながら現在推進している「Future Cities Program」に協力しています。そのFuture Citiesの一つに選ばれたフィジーは、昨年のCOP23では議長国を務めるなど、海面上昇等の気候変動の影響が特に深刻な南太平洋の島々（22の国・地域）のリーダー的な役割を果たしています。また、我が国と同じ島国であり、資源に乏しく、日本の省エネ、環境、スマート技術等に対する期待が高まっています。

そこで、今回のワークショップでは、横浜のインフラ技術とのマッチング可能性を視野に入れながら、本年2月に実施した現地ニーズ調査の結果を皆様にご報告するとともに、本年5月、ADBの主催により、フィジーの首都スバ市で開催される「ADB Future Cities Workshop」へのご案内いたしました。

また、本年度のY-PORT事業の展開についてもご紹介いたしました。名刺交換会では講演者・参加者間で活発なネットワーキング・情報交換が行われました。

1 ワークショップの概要

(1) 日 時：平成30年4月18日（水） 14:00～16:15

(2) 場 所：横浜国際協力センター 6階共用会議室（横浜国際協力センター 6階）
（所在地：横浜市西区みなとみらい1-1-1）

(3) 参加者数：33名

(4) 内 容：

・本年度Y-PORT事業の展開について

横浜市国際局国際協力課

国際技術協力担当課長 奥野雅量

・フィジー・スバ事前出張報告

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）（ADB Future Cities Program受託者）

業務部次長／主任研究員 家本了誌氏

・フィジー・スバでのワークショップ案内

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）（ADB Future Cities Program受託者）

業務部次長／主任研究員 家本了誌氏

・名刺交換会

2 ワークショップの様子



<OECCからのプレゼンテーション、質疑応答>



<横浜市からのプレゼンテーション>



<会場の様子>

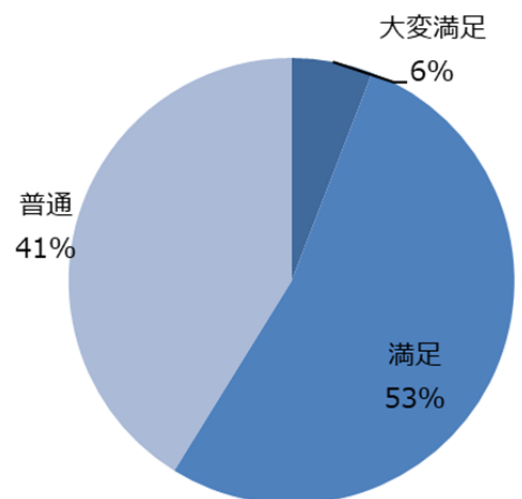


<名刺交換会の様子>

3 アンケートでの主なご意見等

- ・大洋州に関するワークショップはあまりないので参考になった。
- ・問題、課題が明確化されて、ニーズが読み取れた。
- ・様々な情報を入手できた。
- ・現地政府の意思がまだ不明な点が多いと感じた。
- ・参加検討（承認）に時間が必要なため、現地ワークショップ・現地調査の案内は早めに情報提供を受けたい。

等のご意見をいただきました。また、各社のご興味のある分野についても、多くのコメントをいただきました。



参加者アンケート結果
(ワークショップ満足度 (N=17))

お問い合わせ先

横浜市国際局国際協力課 藤巻、佐々井 TEL 045-221-1211